

重点施策	重点施策の目標	重点事業	実施内容・実施時期等	区分	評価指標及び内容	現状値	27目標値	達成値
1 図書館事業の充実								
1-1 魅力ある図書館づくりの推進	・産業文化センターと共催で、図書館開館30周年記念事業を開催し、施設認知度を高める ・全年齢層へのサービスの充実を目指し、利用促進につながる事業を実施する。 ・本館開館時間延長を継続し、学生や勤労者の夜間利用促進に努める。 ・図書館ボランティアの組織づくりをすすめる、事業等への協力やボランティアの活動場所を提供する。 ・図書館協議会の協力により、運営や事業に関する適正な評価を行い、市民に公表する。	1-1-1 開館30周年記念事業の開催 1-1-2 レファレンスサービスの充実 1-1-3 障害者等へのサービス 1-1-4 図書館ボランティアの組織化と活動支援	9月12日、13日に市民参加による実行委員会形式で、記念事業を開催する 司書職員の質の向上と人数の増に努める 人事異動によって司書資格職員数を増やす(4月) 視覚障害者への録音資料を提供する 録音資料作成2~3点 図書館ボランティアの組織化を図る おはなし会等で「場」を提供し、育成のための研修会を実施する おはなし会年間回数350回、夏、冬のおたのしみ会運営支援年1~2回 研修会の実施年1回	廃止 継続 継続 新規 継続 継続 継続	開催 司書職員数 録音資料作成点数 組織の設立 おはなし会回数 おたのしみ回延べ回数 研修会開催年1回	なし 9 1 なし 360 6 0	開催 10 3 設立 350 6 1	開催 9 3 未設立 357 5 1
		1-1-5 利用促進事業の充実	講演会、講座、事業の実施により、その後の利用促進につなげる 人形劇の実施(8月) 子ども読書推進のため「あれこれブックガイド」の配布 子ども読書推進のため「読書ラリー」の実施 短歌に関する講演会(10月) 石川 信雄講座(3回)	継続 継続 継続 新規 新規	参加者数 配布箇所数 終了者数 参加者数 延べ参加者数	73 16 97 55 93	120 16 100 60 60	80 16 39 29 56
		1-1-6 本館開館時間延長と閲覧席開放事業の試行継続	本館のみ火~金、午後8時まで延長、午後9時30分まで閲覧室開放 夜間入館者数の増 閲覧席利用者数の増 入館者数の増	継続 継続 継続	220人/日 20席/日 720,000人	202 18 692,379	220 20 720,000	213 17 694,482
		1-1-7 視聴覚ライブラリーの活用	ウィークエンドシネマ等による映画鑑賞機会を提供する ウィークエンドシネマ上映24回(子ども映画会4回を含む)	継続	年間上映回数24回	25	24	27
		1-1-8 運営や事業に関する適正な評価と公表	アクションプランに基づく自己評価を行い、その後外部評価として図書館協議会による評価を行ったあと市民に公表する。	継続	評価の実施と公表	実施と公表	実施と公表	実施と公表
1-2 図書館資料の充実	・予算の適正な執行により、資料の刷新を図って、市民満足度を高めることにより、市民一人当たりの資料点数5点や年間貸出点数100万点達成を目指す。							
		1-2-1 子ども向け資料の充実	絵本、紙芝居を含む児童図書資料の充実を図る	継続	年間購入数2750点	2,915	2,750	2,722
		1-2-2 市民の関心が高い分野の資料の充実	市民要望や市民の関心が高い健康・福祉・環境・経済問題等の資料の充実を図る	継続	年間購入数7,000点	7,538	7,000	7,118
		1-2-3 参考図書の整備	年度更新する資料や高価な参考図書資料の購入に努める	継続	年間購入数200点	184	200	154
		1-2-4 大活字本の整備	視力の弱い方、高齢者向けに大活字本を購入する	継続	年間購入数100点	81	100	117
		1-2-5 NPO雑誌寄贈サポート	NPOの仲介により、市内企業5社から雑誌35種の寄贈を受ける	継続	年間寄贈雑誌種数	27	35	39
1-3 学校等と連携した読書活動の推進	・学習活動や読書活動の支援や学校図書館ボランティアを支援し、学校等との連携を強化する。 ・庁内連携を図り、親子に読書活動のきっかけづくりを行い、市民生活の中での「読書活動」の重要性を伝えるように努力する。 ・ボランティア団体と協力して利用促進につながる 事業を実施するとともに、ボランティア団体の育成、支援の場とする	1-3-1 学校との連携・協力	学習活動や読書活動の支援や学校図書館ボランティアを支援する 図書館見学の実施(市内小学3年生 5月~6月) 利用教室の実施(市内小学2年生 5月~6月) 中学生社会体験チャレンジ事業の実施 プチャー日図書館員(7月) 学校図書館ボランティア研修会(6月に2回) 移動図書館の学校定期巡回(毎週1回) 配本サービス(保育所、学童保育室、学校他)	継続 継続 継続 継続 継続 新規	参加校数、参加者数 参加校数、参加者数 受入れ学校数・生徒数 開催回数、参加者数 開催回数、参加者数 学校数 箇所数	16 16 11 8回、92人 2回、68人 8 31	16 16 11 8回、100人 2回、70人 8 35	15 16 10校 8回、90人 2回、58人 8 30
		1-3-2 市民団体・他の機関との連携・協力	庁内各課と協力した事業の実施(広報広聴課、生涯学習課他) ブックスタート事業(健康福祉センター BCG接種時)年12回 全庁的な子育て支援策としてのブックスタート事業の調査研究及び庁内連携調整会議の開催 夏休み臨時学習室 市民団体との協力による事業実施 おとなのための朗読会(11月 西武分館 共催:小函の会) 古典朗読会 年間10回以上定員10名程度(藤沢分館 共催:古典の会) 工作教室(夏休み・共催 子どもと本をつなぐ会)	継続 継続 新規 継続 継続 継続 継続 継続 継続	協力の有無及び箇所数 年間実施回数 会議開催実績 実施日数、利用人数 年間実施回数 人数 年間実施回数 実施回数、人数	5 12 0 10日、10人 3回、171人 12回 1回、58人	5 12 1 10日、15人 1回、50人 12回 1回、50人	5 12 0 9日、10人 1回、58人 11回 1回、29人
2 図書館施設の充実								
2-1 図書館網の整備	・ダイヤ4市の利用促進につながる広域サービス利用者数の増加を目指す。 ・西部地域まちづくり協議会図書館部会会議を開催し、情報交換に努め、公平、平等な広域サービスの提供に努める。 ・既存施設の有効活用を図って、移動図書館に代わる分室整備を進め、市民サービスの向上に努める	2-1-1 図書館情報ネットワークシステムの活用 2-1-2 ダイヤ4市等の相互利用 2-1-3 分室網の整備	システムの安定的活用 相互利用促進 西部地域まちづくり協議会図書館部会会議の開催と情報交換に努める 新たに青梅市との相互利用協定の締結と相互利用の開始(11月開始予定) 東金子公民館、黒須公民館との分室化協議を継続する 黒須公民館図書室分室化 東金子公民館との協議	継続 継続 継続 新規 継続 継続 継続	システムダウン回数 相互利用者数5%増 年間会議開催回数 相互利用者数 協議開催及びその内容 未実施 未実施 未実施	1 43,889 3 0	0 46,083 4 100	0 42,178 3 28
	・学校図書館とのシステム連携に関する調査、研究を進め、システムの有効活用を図る。	2-1-4 学校図書館システムとの連携	次期システム更新時に連携が実現するための事前研究をすすめる	新規	未実施	未実施	実施	実施
2-2 図書館施設の計画的な整備	・設備や内装の計画的な改修等を行い、快適な読書環境を確保し、市民満足度を向上させる。	2-2-1 本館備品整備 2-2-2 その他の館内設備の充実	本館書架1台購入 カウンター用椅子の購入(金子・藤沢) 書架用棚板の購入	新規 新規 新規	購入数 購入数 購入数	0 0 0	1 6 20	1 6 20
3 情報提供サービスの充実								
3-1 ホームページの活用	・地域情報や行政情報の収集発信、図書館情報の提供に努め、ホームページ等の充実により、地域情報拠点施設としての役割を果たし、施設の意義を高める。 各種メディア、広報紙等により地域情報や図書館情報を早く、正確に提供することに努める。 デジタルデバイス解消のため電話により情報弱者に	3-1 ホームページの活用	図書館の最新情報の提供に努め、閲覧者を増やすよう努力する ホームページメンテナンスを毎月実施する メールアドレス登録者のうち、情報提供希望者に図書館の最新情報等をメール通知により提供する とともに、新たなサービスのPRに努める。	継続 継続 継続	年間アクセス数250,000件 メンテナンス実施回数 年間メール通知登録者数	902,075 6 84	1,152,075 12 100	1,198,317 6 91
3-2 広報紙等の活用	努める。 有料データベースを整備し、市民に必要な電子情報の提供に努める	3-2 広報いるままでの情報提供	毎月1日号に図書館関連記事を掲載する 図書館関連の特集記事を年1回以上掲載する。(30周年記念事業) 図書館だよりの発行	継続 継続 継続	年間掲載月数 年間掲載回数 年間発行回数	12 1 4	12 1 4	12 2 4
3-3 各種メディアの活用		3-3 各種メディアを活用した情報の提供	FM茶室や入間ケーブルテレビへの出演による情報提供に努める FM茶室本のあるくらし 週1回出演 入間ケーブルテレビへの出演	継続 継続 継続	年間出演回数 年間出演回数	51 7	51 5	52 7
3-4 自動音声応答システムによる情報提供の充実		3-4 自動音声応答システムでの情報提供	インターネット環境未整備の市民のため情報格差を生じないように、自動音声応答システムで情報提供やサービス提供を行い、自動音声応答システムの利用促進を図る	継続	年間利用件数	6,142	7,700	6,519
3-5 インターネット接続端末の活用		3-5 インターネット接続端末の活用	インターネット接続端末に新聞記事データベースを整備し、利用促進を図る	継続	年間利用件数	9,062	9,300	8,400